

平成30年度 第1回 民間技術発表会

聴講者を募集します

- 日 時 平成30年7月23日(月) 13:30 ~ 16:00 (13:00より受付開始)
- 場 所 東北地方整備局 港湾空港部 会議室
仙台市青葉区本町3-1-1 仙台合同庁舎B棟 9F
- 定 員 50名程度(先着順)
- 参加費 無 料

紹介技術

- SLJスラブ
- CPG工法
- 次世代浚渫システム「TOP SYSTEM-Auto」
- 水中3Dスキャナーによる水中可視化システム「i-UVS」
- 拡張現実(AR)を用いた水中可視化システム「Beluga-AR」

お申込み方法

FAXで参加希望者の氏名・連絡先をお申込み下さい。
(裏面の申込用紙をご利用下さい)

お問い合わせ先

仙台港湾空港技術調査事務所 技術開発課
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡5-1-35
三共仙台東ビル7F
TEL:022-791-2113



平成30年度 第1回民間技術発表会

【民間技術発表会とは？】

東北地方の港湾・空港整備、調査等で活用が期待される民間等で開発された新技術について、情報収集や発信の場として、毎年定期的に開催しております。

参加費無料でどなたでも参加していただけますので、この機会にぜひご参加ください。

【技術概要】

「SLJ スラブ」[オリエンタル白石株式会社]

プレキャスト床版の接合部にエンドバンド鉄筋を用いることで、施工性が優れるとともに、継手長の短縮や床版厚の低減を図ることができる。

「CPG 工法」[静的圧入締固め工法(CPG 工法)研究会]

密度増大工法に分類される液状化対策工法である。既設構造物に対する液状化対策として本工法を用いることにより、供用中の施設に対しても対策が可能となり、耐震化を図ることができる。

「TOP SYSTEM-Auto」[東洋建設株式会社]

ポンプ浚渫に本システムを用いることで深度を自動調整しながら浚渫し、出来形についても「見える化」を行ったことで、オペレーターの負担を軽減し技量によらない高精度な浚渫作業を可能とした。

「水中 3D スキャナーによる水中可視化システム」[いであ株式会社]

水中 3D スキャナー(音響機器)を用いた水中構造物、底面形状計測システム。濁水中や水深 40m 以深でも形状確認可能となり、点群データ密度が高密度であるため、工期短縮、コスト削減、品質の向上が図れる。

「拡張現実(AR)を用いた水中可視化システム」[東亜建設工業株式会社]

3D ソナーの計測データと3D の設計図面等を重ね合わせて投影することで、水中部をリアルタイムに可視化するシステム。水中でのブロック据付誘導が容易になり、生産性の向上が期待できる。

FAX 申込み用紙

氏 名	住所または所属会社名	連 絡 先

FAX 番号:022-292-5366 (個人情報、本発表会開催目的以外には使用しません)

* 申込み多数の場合は、早期に募集を締め切る場合がありますのでご了承ください。